

## 第76回ITER機構職員募集説明会でのQ&A

### 1. 日時・場所

平成26年9月8日(月)～10日(水)

京都大学 吉田キャンパス (日本原子力学会 2014 年秋の大会 企業展示会場)

### 2. 来訪者: 50名程度

### 3. 説明概要:

日本原子力学会秋の大会 企業展示会場において、来訪者に核融合、ITERなどに関する資料を配布し、ITER計画について説明及びITER機構職員募集を行った。

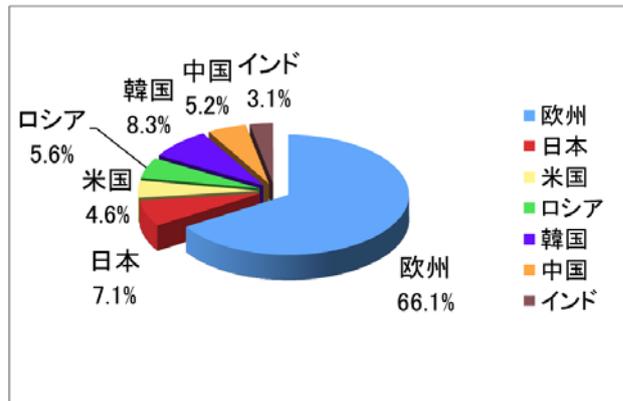
(ITER統合支援グループ 井上、ITER計画管理グループ 齋藤)

### 4. 主なQ&A

Q:現在のITER 機構職員数と、日本人の人数はどのくらいか。

A: 2014 年 7 月末現在で、合計 524 名、そのうち日本人は 29 名です。

参加極	専門職員	支援職員	合計
欧州	214	135	349
日本	23	6	29
米国	15	15	30
ロシア	18	10	28
韓国	27	5	32
中国	17	19	36
インド	10	10	20
合計	324	200	524



Q:日本からITER サイトまでのアクセスは？

A:パリやアムステルダム空港を經由し、マルセイユ空港へ、そこから車で1時間ほどの場所にITER サイトがあります。ITER 機構職員や出張者はエクサンプロバンスかマノスクに滞在し、そこから自家用車やITER 機構のバスで通勤しています。



Q:ITER と JT-60SA の関係は？

A:JT-60SA の目的は①ITER 技術目標達成のための支援研究、②原型炉に向けたITER 補完

研究、③人材育成の3つです。ITERと同じ形で高い性能を持つプラズマ運転を行い、その成果のITERへ反映や、ITER計画をはじめとする核融合研究を主導する研究者・技術者の育成を行います。

Q: 研究室には中国人や韓国人の留学生がいる。彼らがITER機構への就職を希望する場合、原子力機構に申し込めばよいのか？

A: IO職員になるには、直接IOに応募して下さい。原子力機構は政府から委嘱された日本の実施機関として、日本人の応募者を支援しています。ITER参加極の外国籍を持つ方は原子力機構に連絡いただければ各極の窓口をお教えします。

Q: 就職情報がほしいのは学生だが、IOは経験がないと就職できないと聞いている。

A: 大学新卒でのIOへの就職はほぼありません。一方、モナコが出資して参加極からポスドクを募集する制度がありますが、日本からは応募がない状況です。職員募集ではありませんが、学生の方々にも門戸は開かれており、ぜひ応募を検討して頂きたいです。

Q: 核融合をやりたいが、今はトカマクをやっていない。トカマク以外の勉強をやってきて、IOにポスドク、就職という道はあるか？

A: (質問者はトリチウム関連の研究をやっていることから、)トリチウムプラントの調達はこれからであり、応募可能なポジションもあるでしょう。自分のできることを限定せずに幅広く考えること、自分の可能性をアピールすることが大切です。原子力機構ではこういったトレーニングコースも用意しており、是非利用して下さい。

以上

日本原子力学会 2014 年秋の大会 企業展示会場の様子

